

福島県内における労働災害発生状況

令和3年の死傷災害は、9月末時点で1,727件、前年同期と比べ、34.2%の増加

「労働災害多発注意報」4つの重点項目の状況

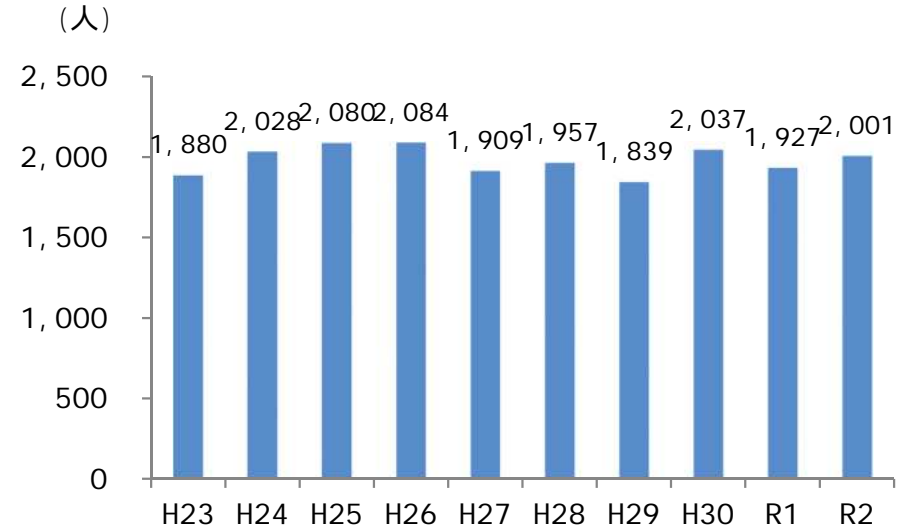
転倒災害は、9月末時点で381件発生し、死傷災害全体の22.1%を占める。

墜落・転落災害は、9月末時点で271件発生し、死傷災害全体の15.7%を占める。また、2件の死亡災害が建設業で発生している。

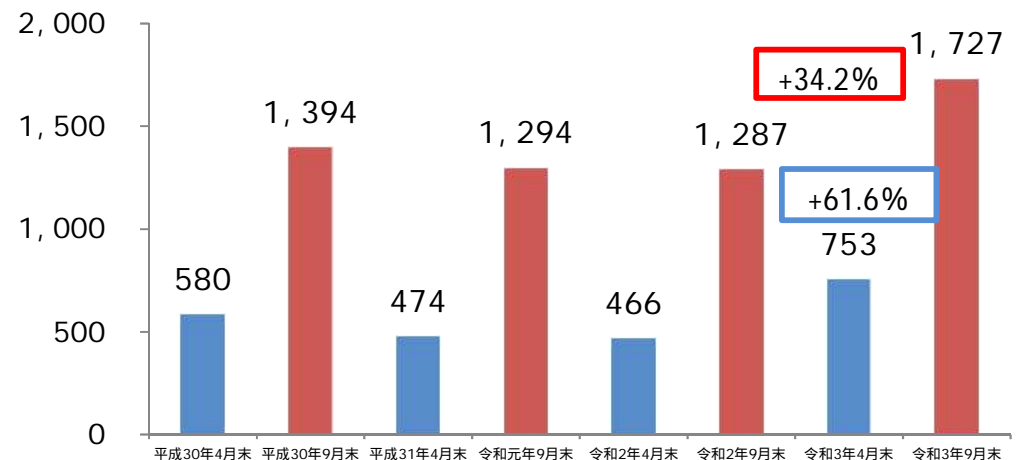
熱中症は、9月末時点（未確定）で10件発生と前年の20件から半減したが、死亡災害が1件発生した。

新型コロナウイルス感染症は、9月末時点で70事業場、260件で全体の15.1%を占め、前年（24事業場、94件）と比べ約3倍の発生件数となっている。

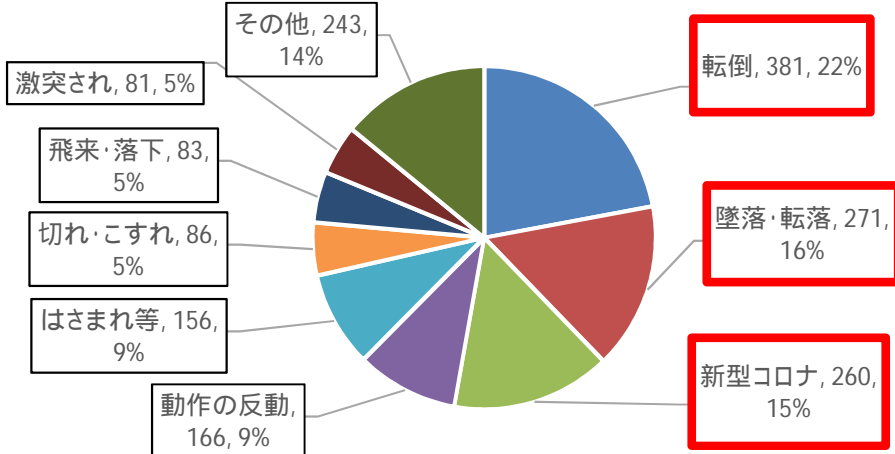
福島県内における労働災害発生状況



労働災害発生状況(4月末・9月末時点での対比)



事故の型別災害発生状況(令和3年)



労働災害件数は労働者死傷病報告

福島県内における転倒災害の発生状況

ポイント

▲福島県内の転倒災害は、労働災害全体の約4分の1を占めており、特に降雪や凍結時期である**冬季（12月～2月）に多発（42.2%）**している状況にあります。

（図1参照）

時間帯別では**9時台をピークに、午前中に多く発生**しています。（図2参照）

年代別では、**50代以上**の災害が全体の**7割以上**を占めています。（図3参照）

男女別では、**女性**が全体の**約6割**を占めています。（図4参照）

転倒による休業日数は、**1か月以上**が全体の**約6割**を占めています。

福島県における転倒災害のキーワード

「冬季」「午前」「50代以上」「女性」「休業1か月以上」

図2 時間帯別転倒災害発生状況

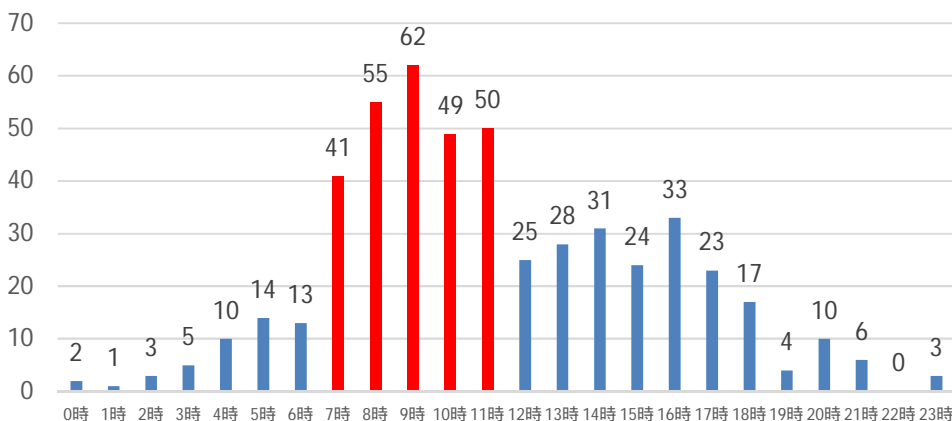


図1 月別転倒災害発生状況(R2年10月～R3年9月)

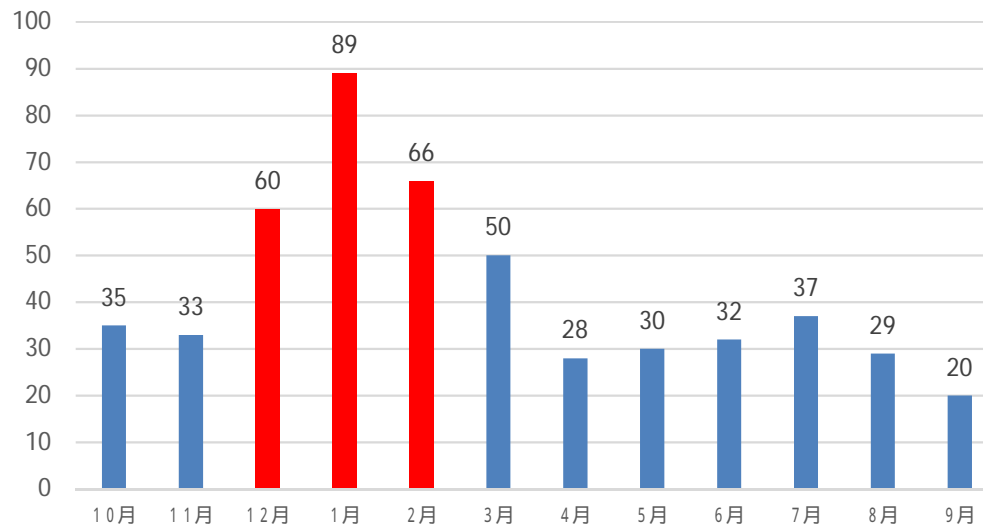


図3 年代別転倒災害発生状況

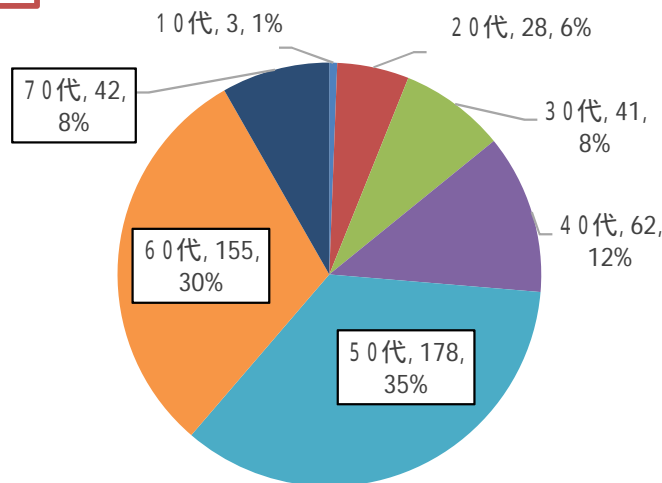


図4 男女別転倒災害発生状況

